

平成 2 7 年度

社会教育委員会議の協議経過とまとめ

平成 2 8 年 4 月

尼崎市社会教育委員会議

1 協議経過

回	開催日等	主な事項
第1回	平成27年5月26日(火) 於：教育委員会室	平成26年度社会教育委員会議における協議内容について 平成27年度社会教育関係主要事業について 平成27年度社会教育団体への補助金について 平成27年度社会教育委員会議における協議事項について 梅香小学校敷地複合施設の進捗状況について 尼崎市スポーツ推進計画について 尼崎市立北図書館指定管理者選定委員会について
第2回	平成27年6月26日(金) 於：教育委員会室	平成26年度社会教育委員会議の協議経過とまとめについて 総合計画に係る社会教育関連施策と今後の取組について 02(生涯学習)施策について
第3回	平成27年9月7日(月) 於：文化財収蔵庫	総合計画に係る社会教育関連施策と今後の取組について 17(地域の歴史)施策について 近畿地区社会教育研究大会等の報告について 文化財収蔵庫の見学
第4回	平成28年2月5日(金) 於：田能資料館 園田公民館	平成28年度主要事業(新規・拡充事業等)について 田能資料館及び園田公民館の見学

2 主な協議内容と協議結果のまとめ

(1) 尼崎市総合計画に係る社会教育関連施策と今後の取組について

ア 協議の方向性

平成25年4月からスタートした「ひと咲き まち咲き あまがさき」をキャッチフレーズとする尼崎市総合計画においては、尼崎市として実現に向けて取り組む姿を「人が育ち、互いに支えあうまち」、「健康、安全・安心を実感できるまち」、「地域の資源を活かし、活力が生まれるまち」、「次の世代に、よりよい明日をつないでいくまち」の4つのありたいまちとして定め、その背景や市民・事業者・行政が取り組む方向性を20の施策ごとに示している。

その中の、社会教育関連施策「02 生涯学習」及び「17 地域の歴史」について、市民意識や目標指標の達成度合いを把握し、その取組の成果や課題、進捗度などを点検・確認することを目的として作成している「施策評価表」をもとに、市民・事業者それぞれの立場からどのような取組や関わりができるのか、加えて、市制100周年の年であることにも着目し協議を行った。

イ 主な協議内容とまとめ

「02 生涯学習 - 01・02・03」(生涯を通して学び、スポーツに親しめるまち)について

- (ア) 多様な学習機会の提供と情報発信による市民参加の促進を図ること。また、関係機関と連携し、親子で社会教育施設を訪れ、共に学ぶ事業を実施するなど社会教育施設の有効活用に努めていく必要がある。
- (イ) 学社連携を深めるとともに、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで学校を支援する仕組みづくりを進める必要がある。
- (ウ) 気軽にスポーツやレクリエーションに参加できる環境づくりを進めるため親子で参加できるスポーツ教室の拡充や、市民だれでもが取り組みやすいダンスや体操など参加しやすい事業について考える必要がある。
- (エ) 公民館等での学習活動が、誰かをサポートできるボランティア活動に繋がるようになれば望ましい。市民も、学んだことを社会に活かしたい、繋がろうという意識は芽生えてきている。「学習の成果を地域社会に活かすことのできる人づくり・しくみづくり」について、取組を進めていく必要がある。
- (オ) 事業企画については、教養だけではなく、そこに暮らす住民の責任として地域課題の部分に誘導することが大切である。また、地域の特色を知り何が求められているのかを敏感にキャッチし、活躍できるステージ(定年後の地域デビューも含め)をコーディネートしていくことも必要である。
- (カ) 図書館については、最近目に見えて工夫をされていることがよくわかる。今後も、利用者の少ない成人層を対象とする特別講座の開催や、新たな発想での企画を展開し、図書館利用の裾野を広げていく必要がある。

「17 地域の歴史 - 01・02・03」(歴史遺産を守り活かすまち)について

- (ア) 歴史に関する学習機会の提供に関しては、引き続き、より効果的な手法の開発や市民ボランティア養成の継続的实施等を進めるとともに、参加者の増加を図っていくこと。また、親子で参加できる事業を更に充実し、歴史を通じて郷土愛を育む機会を提供していくことが必要である。
- (イ) 尼崎市の歴史を学習する機会を創出するため社会教育施設が連携し、子ども達を受け入れる事業を実践するとともに施設利用者のニーズ把握に努め、引き続き効果的な事業実施について検討を行う必要がある。
- (ウ) 田能資料館は弥生時代を体感できる施設であり、このような遺跡博物館は阪神間では唯一であるため、近隣各市からの学校をはじめ多くの方が訪れる施設となっている。こうしたことから、尼崎の魅力を市内外に発信するとともに、更なる学習機会の充実を図ることや、老朽化が進んでいる復元施設の改修に取り組む必要がある。
- (エ) 歴史遺産の保全に努め、地域住民等とも連携しながら活用し、歴史のまち尼崎の情報発信に努めることで、歴史を活かした市民との協働のまちづくりを進める必要がある。

まとめ

以上のことから、平成28年度は、『より積極的に学習の成果を地域社会に活かすことのできる人づくり・しくみづくりに向けた取組と、市民が気軽に運動やスポーツを楽しめる事業を企画・検討すること。』また、『わがまち尼崎に愛着と誇りが持てるよう、歴史を活かした市民との協働のまちづくりや歴史に関する学習の機会を設けること。』さらに、『これまで社会教育委員会議で長く検討してきた、学校(学校教育)と地域(社会教育)が連携・協力することの必要性を再認識し、学社連携の充実について、推し進めていくこと。』を教育委員会事務局に求めた。

3 平成28年度取組(参考)

前述の意見をもとに、学習の成果を地域社会に活かすことができる人づくり・しくみづくり及び学社連携を進める新たな取組について教育委員会事務局内で検討し、以下の取組を平成28年度の新規・拡充事業として計上した。

(1) 「学校支援活動コーディネーターモデル事業」

地域の豊かな社会資源を活用し、子どもたちが地域社会で体験的に学ぶ取組を行うとともに、学校の求めと地域の力をマッチングして、より効果的な学校支援が行えるよう調整するコーディネーターをモデル校に配置する。

(2) 「親子ボランティア体験学習事業」

高齢者疑似体験や高齢者に対する接し方等について学ぶとともに、特別養護老人ホームにおいて、高齢者とのコミュニケーション(手遊び、歌等)、利用者への援助、施設内行事やイベントへの参加等のボランティア活動を行う。

(3) 「あまらぶ歴史体験学習事業」

小学校3年生以上の児童を対象として、夏休みに、文化財収蔵庫及び田能資料館をめぐるバスツアーを行う。各施設においては、尼崎の歴史を学ぶとともに、糸つむぎ体験など昔に触れたり、勾玉づくりを体験したりする。また、小学生の親子を対象とした体験学習会を実施し、文化財収蔵庫や田能資料館、大庄公民館において、それぞれの施設を活かした体験学習を行う。

(4) 「新・がんばりカード(1日1回運動)事業」

がんばりカード(1日1回運動)の取組回数に応じて、市が絵本や紙芝居を購入し、図書館等に配架する。また、市内で行われている運動やスポーツの実施状況などを周知するため、「スポーツ活動マップ」を発行する。

(5) 「だれでもできる体操&みんなで楽しむダンスの開発・普及事業」

市民だれでもが取り組みやすい体操やみんなで楽しめるダンスを開発し、これを普及することにより、市民のスポーツ実施率の向上及び健康の保持増進を図る。

(6) 「親子スポーツ推進事業」

親子を対象とした運動プログラムなどを策定し、子どもとともに運動やスポーツに取り組む機会を提供することにより、市民のスポーツ実施率の向上を図る。

(7) 「AMA ウォーキング推進事業」

市内の地域資源を巡る「ウォーキングマップ」を作成し、公民館等での掲示や配布、ホームページへの掲載を行うほか、ウォーキングの重要性や正しいウォーキングの仕方を説明する講習会などを行い、だれにでも取り組みやすい運動・スポーツであるウォーキングの普及を図る。

(8) 「司書力発揮！特別講座」

専門知識を有する図書館司書が講師となり、読み聞かせ講座などを実施することにより、市民の読書意欲の向上に加え、子どもや保護者に対する読書習慣への動機付けを図る。

(9) 「図書館で聞こう！特別講座」

子どもに人気のある職業人を招き、職業や仕事について学ぶ講座等を実施することで、これまで図書館を利用していなかった子どもや保護者等に図書館を訪れる機会を創出するとともに、講座に関連した図書を紹介し、読書習慣への動機づけを図る。

(10) 「生き方探求キャリア教育支援事業」

小学校高学年を対象に、年複数回、地域にゆかりのある様々な職業人による講義を実施する。

(11) 「立花(りっぱな)子育てひろげようサミット事業」

年3回程度、立花公民館で「サミット」を開催し、各子育て団体が抱える課題などについて自由に意見交換を行い、相互協力でその解決策に向けた取組を行う。

(12) 「あまがさき学講座」

市制100周年を記念して、「市民大学」「地域・現代学講座」「子どもふれあいスクール」など、既存の公民館事業の中で尼崎にまつわるテーマを取り扱う講座やプログラムを実施する

(13) 「田能遺跡サポーター養成事業」

「田能遺跡サポーター」を養成し、復元住居の修復及び事業のサポートを行うなど協働の取組を推進するため、田能遺跡及び田能資料館について学ぶ「講座」や、火おこし、古代米づくり、茅葺き替え等を行う「実技研修」を実施する。

なお、引き続き、平成28年度の新規・拡充事業の実施状況を検証するとともに、総合計画に掲げる「02生涯学習」及び「17地域の歴史」に基づく新たな取組について、協議を行っていくこととする。

以 上